

『愛の哲学』

【推薦の御言葉】

美しい言葉は魂に働き、未来を変えます。
この本は、待っていた滋雨のように、人の
心にしみ込むでしょう。

音楽評論家・湯川れい子

説明できない不安はありませんか？
特に不満がありわけでもないのに淋しい。
それなのに、誰よりも深く傷ついてしまうのはなぜ。
それは、大切なことに出会うために与えられた感性かも。
きっとあなただけに見つけられる「宝物」があるはず。
その答えが本書に眠っています。

東洋日本思想家 林英臣

【帯の言葉】

開いたページにあなたへのメッセージがあります。
恋に傷ついたら、人間関係に悩んだら、そっとこの本を開いてください。
美しい口ゴスに、心が涙を流すでしょう。

【書籍紹介】

哲学者・思想家である著者の、熱く、未だ青き想いを記す「青春の自省録」。その日記の中から、「愛」の旋律をテーマとしてまとめた小品集です。

現在、様々な分野において綴る著述活動の心の原点である調べが奏でられており、読者がページをめくる程に、繊細で瑞々しい、自分自身の本来の姿へと誘われます。

愛の想いで満たして下さい。溢れる想いを、大切な方のところへと届けて下さい。愛の波紋が大きく広がってゆきます…